

2023年11月21日(火)【外為Lab】松田哲

タイトル:【オーバーシュートと揺り戻し】

相場は、時として、行き過ぎた値動きをすることがあります。

相場が行き過ぎて動くことを、オーバーシュートと言います。

つまり、相場がチャート・ポイントを飛び越えるように、行き過ぎた値動きをすることを指します。

相場が上昇する場合ならば、「損切り」を巻き込んで、過度に上昇するような値動きのことを指します。

相場が下落する場合ならば、行き過ぎるほどに、突っ込んで急落するような値動きのことを指します。

相場がオーバーシュートすると、その後に「揺り戻し」が起こります。

「揺り戻し」とは、行き過ぎた値動きの修正が起こって、相場が反対に振れることです。

++++
++++

「揺り戻し」と「相場の綾」についても述べておきましょう。

相場がオーバーシュートした後で起こる修正のことを、「揺り戻し(修正/調整)」と言います。

相場が行き過ぎて売られたり、買われたりすると、その後で、その反対の動きが起こります。

売られ過ぎて相場が大きく下落した場合ならば、その後で、急な買い戻しが起こって、相場が急反発します。

買われ過ぎて相場が大きく上昇した場合ならば、その後で、頭が重くなり、相場が急落します。

「揺り戻し」と呼ぶ場合は、おおもとの流れ(相場の動き)よりも値幅が小さくなります。

たとえば、相場が売られ過ぎて大きく下落した後で、揺り戻しが起こり、反転急反発しても、

相場が下落を始めた水準まで戻るわけではありません。

揺り戻しが起こると、その水準で、小さな「持ち合い相場」を形成することが多いのです。

+++++

「綾 (あや)」「綾戻し (あやもどし)」という言葉も使われますが、「揺り戻し」とほぼ同じ意味です。

ただし、「綾」「綾戻し」と言った場合は、必ずしも、相場がオーバーシュートしたときばかりを指すわけではありません。

相場がトレンドに従って動いているときに、一時的に、相場が逆方向に動くことがあります。

そういった一般的なケースでも、「綾」「綾戻し」を使います。

また、1日のような短い時間でも、時系列で相場を見ると、短いトレンドがあります。

相場は一方方向に動き続けることはないので、そういった短い時間の中で、逆方向に振れることがあります。

この場合も、「綾」「綾戻し」と言います。

+++++

+++++

(2023年11月21日東京時間14:40記述)